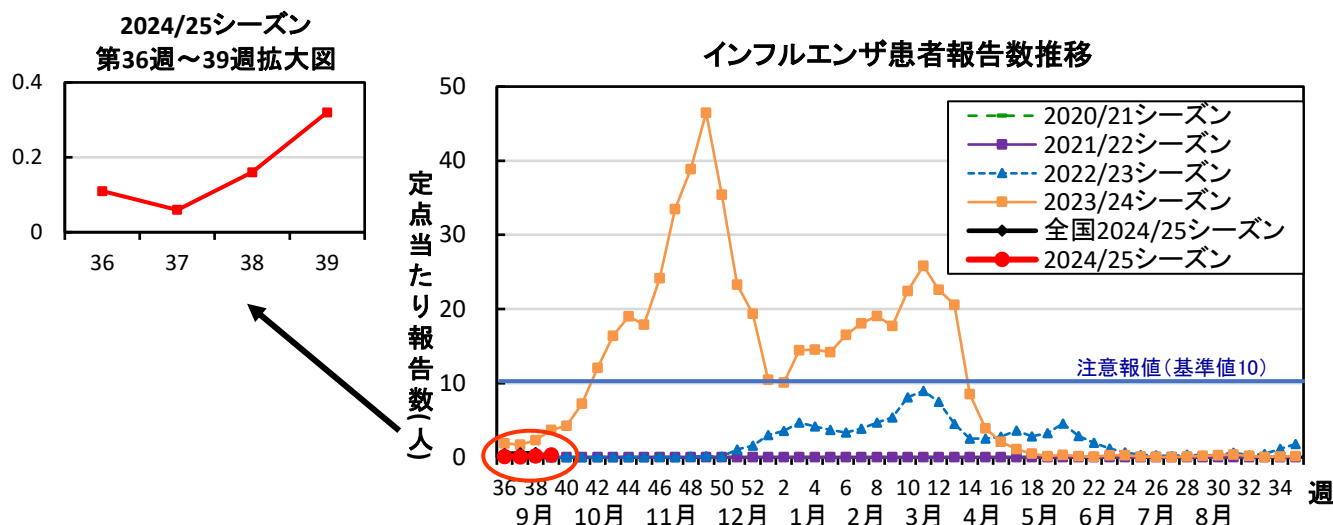


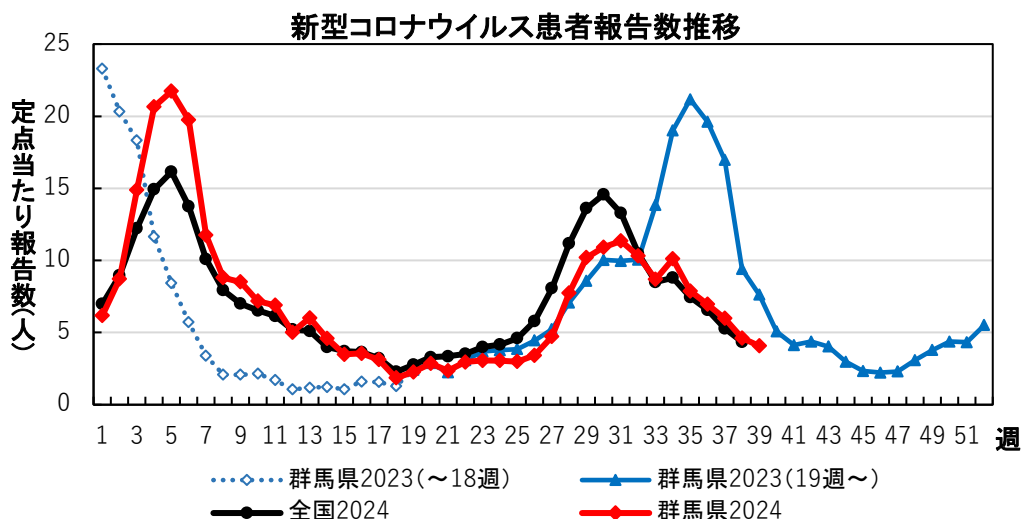
● インフルエンザ（定点報告疾患）

- ◆ 2024年第39週（9月23日～9月29日）の定点当たりの報告数は0.32人でした。
【第38週（9月16日～22日）：定点当たり0.16人】
- ◆ 定点医療機関の迅速検査結果は、A型が多くを占めています。



● 新型コロナウイルス感染症（定点報告疾患）

- ◆ 2024年第39週の定点からの報告数は346人（定点当たり4.07人）でした。
【第38週：393人（定点当たり4.62人）】
- ◆ 年齢群別で50歳代が61人（17.6%）と最も多く、次いで10歳代が54人（15.6%）でした。

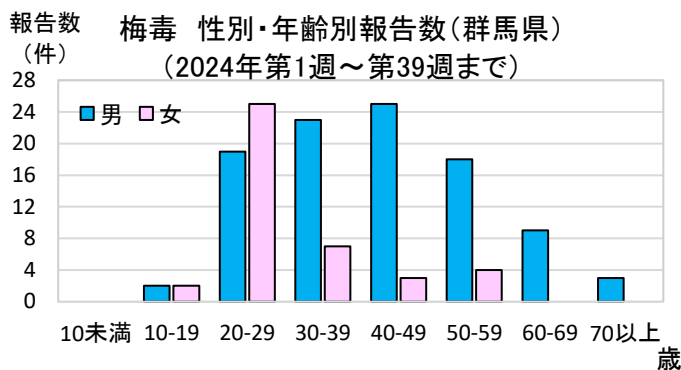
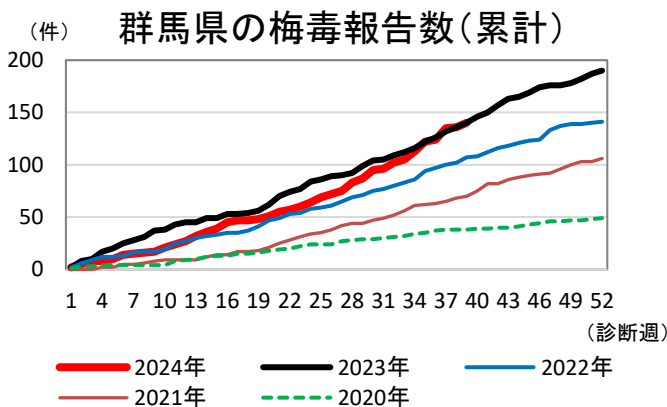


※2023年第1週から第18週までは厚生労働省が発表した定点医療機関合計報告数と
定点当たり報告数（令和4年10月3日～令和5年5月7日の週次データ）から作図

梅毒の報告が増加しています！

◆ 今流行っているの？

- 群馬県では2024年第39週（～9月29日）までに140件の報告がありました。これは感染症法に基づく調査が始まった1999年以降で最も報告の多かった昨年の同時期（140件）と同様の報告数です。



男性が約7割
女性は20歳代の報告が多い

◆ どんな病気？

- 梅毒トレポネーマという病原菌による感染症。
- 早期治療で完治可能**だが、治療が遅れると重大な後遺症が残ることがある。
- 妊婦が感染すると流産・死産となる場合や、子どもが梅毒に感染した状態で生まれる（先天梅毒）可能性がある。

【感染経路】 **性的接触等**

【潜伏期間】 3～6週間

【症状の経過】

第Ⅰ期：(約3週間後) 口唇・口腔内や外陰部等に豆大のしこり、潰瘍を生じる

第Ⅱ期：(約3ヶ月後) 全身に赤い斑点ができる

晩期：(数年後) 心臓、血管、脳などの複数の臓器に病変が生じる

【予防と対策】

- 性行為のときは、必ずコンドームを正しく使用する（同性間でも必要）。
- 不特定の人との性行為を避ける。

※詳しくは厚生労働省ホームページ「梅毒に関するQ&A」をご覧ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/syphilis_qa.html



◆ 症状があらわれた場合は、すぐに医療機関を受診しましょう！

保健所では性感染症の相談・検査を**無料・匿名**で行っています
保健所（県保健福祉事務所、市保健所）までお問合せください



◆ 県保健福祉事務所では梅毒の即日検査を行っています。

◆ 詳しくは群馬県ホームページをご覧ください。 <https://www.pref.gunma.jp/page/2561.html>

*この情報に関するお問い合わせ先：群馬県感染制御センター（群馬県衛生環境研究所）

TEL: 027-232-4881

E-mail: kansenseigyo-c@pref.gunma.lg.jp